

みなさん、はじめまして。

私はソフスともうします。オスロ大学の一年生で、日本語をべんきょうしています。そして、イラストレーターの仕事もしています。今日は日本のアーティスト和田永について話したいと思います。

和田永は実験音楽じっけんおんがくもやっているアーティストです。みなさんは実験音楽じっけんおんがくを知っていますか。実験音楽じっけんおんがくは、普通の楽器を使わないで、音楽の新しいアイデアをさぐる音楽です。

では、どうして和田永はおもしろい人なのでしょう。それは、古い電化製品でんかせいひんをつかっているからです。

たとえばテレ線です。日本の三味線みたいですね。でも、小さいブラウンかんテレビおと かをつかっています。テレビの上にギターのネックがあります。和田永はネックで音を変えて、テレビの上でばちをうごかして、音楽をつくります。テレ線は三味線でもテレビでもない、まったく新しいものです。私はそれがとてもおもしろくて、かっこいいと思います。

私は子どものころから、いつも古い電化製品でんかせいひんが大好きでした。それがどのように機能するかを知るのがすごくおもしろかったです。だから、和田永の音楽は私にひびくのだと思います。

たぶん、みなさんは古い電化製品でんかせいひんはひつようないと思っているかもしれませんが、古い電化製品でんかせいひんはかこを思いだすのにやくだちませんか。子どものころを思い出してください。どんな音が聞こえますか。私はうちの古いテレビの音が聞こえます。和田永は私にそれを思い出させます。それは私にはすごくノスタルジックでとくべつなことです。

イラストレーターの私にとっても、和田永の音楽のえいきょうは大きいです。今、私は、彼の音楽からインスピレーションをうけて、まんがを描いています。かこが古い電化製品でんかせいひんを通して人と話すまんがです。

私は、日本の実験音楽じっけんおんがくについてもっと学ぶために、これからももっと日本語を勉強したいと思っています。

ごせいちょうありがとうございました。